

東京 感染1337人 全国4500人超

新型コロナウイルスの国内感染者は31日午後7時半時点でも新たに4517人

が確認され、1日あたりの感染者数として26日の382人(修正値)を大幅に上

回り、過去最多を更新した。東京都の感染者も13337人に上り、初めて1千人を

超えた。▼3面=救命深刻、38面=「より強い対策を」

全国の感染者数は累計で23万6616人(大型クルーズ船含む)。亡くなった人は全国で37人増え、累計で34933人となつた。厚生労働省によると、30時

(190人)などの各県でも感染者が最多を更新した。

厚労省は31日、英国とアラブ首長国連邦から到着し

た10歳未満~50代の男女6人が、変異ウイルスに感染していたと発表した。

菅義偉首相は31日夕、関係閣僚らと協議。記者団に

「この休み期間中に、医療体制を確保することを改めて指示した」と述べた。

感染 大みそかに最多更新

識者「より強い対策必要」

新型コロナウイルスの感染拡大は年の瀬も続き、国内の新たな感染者数は31日、過去最多を600人以上、上回った。政府や首長らが繰り返し注意や対策を呼びかけているが、効果は出ていない。新年早々、追加の対応が求められることがになりそうだ。▼1面参考「コロナにどうては、年末も年始もありません」初の1千人台となる1337人の感染が確認された東京都。小池百合子知事は報道陣を前に危機感を訴え、「静かなお正月を、ステイホームで送っていただきたい」と改めて呼びかけた。新型コロナは3月から8月にかけての「第1波」、夏に「第2波」に見舞われ、秋以降に「第3波」に襲われた。政府は再び緊急事態宣言を出すことは見送

りてきたが、12月に入つて感染者は急増。1日の感染者数が3千人台に上る日があり、大みそかの31日には一気に4千人を超えて過去最多を大幅に更新した。東京だ。感染拡大が止まらず、市中感染の広がりを示す

■新型コロナウイルス感染者

| 国内での確認 | | 23万5897人(+4517) | 死者 | 3480人(+37) |
|--------|---------------|-----------------|--------|----------------|
| 感染者 | 死者 | | 感染者 | 死者 |
| 北海道 | 13442 (+167) | 453 | 阪 | 30065 (+313) |
| 青森 | 482 (+23) | 8 | 大 | 10014 (+193) |
| 岩手 | 385 (+3) | 24 | 兵 | 1969 (+38) |
| 宮城 | 2191 (+26) | 16 | 奈 | 617 (+9) |
| 福島 | 140 (+4) | 1 | 和 | 118 |
| 茨城 | 387 (+5) | 7 | 鳥 | 207 |
| 栃木 | 944 (+20) | 20 | 島 | 1363 (+23) |
| 群馬 | 2446 (+28) | 36 | 岡 | 3319 (+87) |
| 埼玉 | 1478 (+73) | 6 | 広 | 587: (+15) |
| 千葉 | 2315 (+37) | 44 | 山 | 198 (+2) |
| 東京 | 14314 (+330) | 208 | 徳 | 304 (+3) |
| 神奈川 | 11093 (+252) | 118 | 香 | 465 (+8) |
| 新潟 | 60177 (+1337) | 627 | 愛 | 663 (+9) |
| 福井 | 21263 (+588) | 276 | 高 | 8964 (+190) |
| 石川 | 541 (+8) | 3 | 福 | 466 (+2) |
| 富山 | 560 (+7) | 26 | 佐 | 655 (+29) |
| 福島 | 1071 (+7) | 51 | 長 | 1875 (+32) |
| 宮城 | 355 (+2) | 12 | 熊 | 689 (+22) |
| 岩手 | 569 (+8) | 11 | 大 | 757 (+18) |
| 秋田 | 1184 (+20) | 15 | 宮 | 1016 (+10) |
| 山形 | 2292 (+83) | 34 | 鹿 | 5371 (+58) |
| 福島 | 2685 (+27) | 41 | 児 | 81 |
| 福島 | 16572 (+239) | 211 | 島 | |
| 福島 | 1291 (+18) | 18 | 繩 | |
| 福島 | 1181 (+21) | 11 | 沖 | |
| 福島 | 4808 (+109) | 53 | | |
| 入院・療養中 | | 3万4166人(+1537) | 149人 | コスタ・アトランチカ(長崎) |
| うち重症 | | 681人(+13) | 空港検疫など | 1885人(+14) |
| 退院者合計 | | 19万2110人(+1985) | チャーター機 | 15人 |
| 総数 | | 23万6616人(+4517) | | |
| 死者 | | 3493人(+37) | | |

31日午後7時半現在。入院・療養中と退院者合計は31日午前0時現在。カッコ内は前日最終集計との比較。総数には厚労省の発表も含み、一部重複の可能性がある。再陽性は延べ人数で計上

(感染制御学)は「人の動きが減っていないので、さらには感染者は増えるだろう」と指摘。「都独自の緊急事態宣言を出すとともに、家族以外との会食の禁止や対面時のマスク着用の義務化など、より強い対策が必要だ」と訴えている。

順天堂大学の堀賢教授は「各地で広がっている。医療体制のいつそうの逼迫が懸念されており、専門家からはより強い対策を求める声も上がっている。

5県でも31日に感染者数が最多を更新し、感染は全国

救命瀬戸際



新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかるず、医療に深刻な機能不全が起きている。一刻を争う救急患者を受け入れる病院がなかなか見つからない事態になるなど、影響は新型コロナの患者だけにとどまらない。

「呼吸苦の女性。3日前のPCR検査では陰性でした」。12月30日午後5時半、東京都三鷹市の杏林大病院高度救命急救センター。救急車からストレッチャーで運び込まれた50代女性の顔は、蒼白だった。「いま、苦しい感じはどうですか？」少しは楽になりましたか？」医師の呼び掛けに酸素マスクをつけた女性がうなずく。感染が広がり、今やそれが新型コロナにかかっているのかわからぬ。医師や看護師は呼吸が苦しくなるN95マスク、目元を覆うシールドをつけ、ガウンを着て対応する。

この日、センターでは先に緊急中毒

コロナ拡大

急患受け入れ態勢機能不全に

の患者2人を受け入れており、最初に治療をする三つの「初療室」はすべて埋まつた。だが3分後、新たに救急車が到着。「来ました！」男性看護師が声を上げる。

胸の痛みを訴える筋梗塞の70代男性が運び込まれ、患者の間に仕切りを立てて対応した。

さうの5分後、消防の指令センターから呼吸苦を訴える70代女性の受け入れ要請が入つた。「4件対応中で受けられない」。当直の荻野駅の医師はそう言って断つた。「五つ、六つの病院にうつして断つた」。「五つ、六つの病院にうつして断つた」。「五つ、六つの病院にうつして断つた」。だが昨年11月以降の「第3波」では、複数の受け入れ病院で新型コロナの院内感染が発生。ある地区では、6箇の病院が

内科病院や消防でつくる

心臓病や透析治療後回しになる恐れ

「心臓病への対応は日々難しくなっている」。山口守正会長は、まず

「医療の崩壊は、命を救えるはずの患者に対する医療の機会を奪い、新型コロナを超えるような職業者が現につなぐ。だが昨年11月以降の「第3波」では、複数の受け入れ病院で新型コロナの院内感染が発生。ある地区では、6箇の病院が

も困難に直面している。腎臓の機能が低下した透析患者は重症化のリスクが高め、関連学会でつくる委員会によると、12月25日時点で全国で52人が感染し、1人が死亡している。

「社会全体で新型コロナの対策をしてほしい」と話す。内閣府の小池百合子官房長官は、「社会全体で新型コロナの対策をしてほしい」と話す。新型コロナによる医療崩壊は、ます

多くなることになると、医療崩壊が再び起きた」と話した。杏林大病院の山口さんは、「社会全体で新型コロナの対策をしてほしい」と話す。

(吉澤洋一、照井洋)

ビジネス往来も停止方針

11カ国・地域

変異型「市中感染」なら

中韓を含む11カ国・地域との間でビジネス関係者などの往来を認める出入国緩和が一部の病院に集中し、病床が埋まつてしまつた現象も起きている。大都市だけでなく、患者が急増している地域で共通する問題だ。

杏林大病院の山口芳裕センター長によると、命に関わる深刻な容体の患者を運ぶ都内の「3次救急」で、一度の電話で病院が引き受けれる割合を示す「応需率」はすでに60%台まで低下。昨年4月の「第1波」の50%に近づいている。

新型コロナの患者も入院先がなかなか見つからない。関係者によると、新規の入院先を見つけるのに保健所に相談があつても入院先を決めきれず、都の入院調整本部を持ち込める案件は1日200件ほど。調整本部でもその日のうちに入院先を見つけられず、翌日になると20件が12月30日は150件を超えた。

山口さんは「医療崩壊は、派手に見えるものではない。救急車に乗つた時に初めに場所がない、そういう時に初めて実感する」と話す。

杏林大病院の山口芳裕センター長によると、命に関わる深刻な容体の患者を運ぶ都内の「3次救急」で、一度の電話で病院が引き受けれる割合を示す「応需率」はすでに60%台まで低下。昨年4月の「第1波」の50%に近づいている。

新規の入院先を見つけるのに保健所に相談があつても入院先を決めきれず、都の入院調整本部を持ち込める案件は1日200件ほど。調整本部でもその日のうちに入院先を見つけられず、翌日になると20件が12月30日は150件を超えた。

山口さんは「医療崩壊は、派手に見

れるものではない。救急車に乗つた時に初めに場所がない、そういう時に初めて実感する」と話す。

が、首都圏で受け入れ可能な病院はほぼ満杯の状態。日本医師会の中川俊男会長は21日の記者会見で、「全国の医療提供体制は逼迫の一途を辿っている。急性心筋梗塞は、発症2時間以内の緊急手術ができるが、それは「割がて」ならない。治療が生死の鍵を握る。大動脈瘤破裂といった急性心筋梗塞では、緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。発生件数でみると、冬場のこうした病気は、夏場の2倍に上る。慢性疾患を抱えた人たちも困難に直面している。腎臓の機能が低下した透析患者は重症化のリスクが高め、関連学会でつくる委員会によると、12月25日時点で全国で52人が感染し、1人が死亡している。

「社会全体で新型コロナの対策をしてほしい」と話す。内閣府の小池百合子官房長官は、「社会全体で新型コロナの対策をしてほしい」と話す。

(吉澤洋一、照井洋)

一時機能停止を経た。

急性心筋梗塞は、発症2時間以内の緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。治療が生死の鍵を握る。大動脈瘤破裂といった急性心筋梗塞では、緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。

日本医師会の中川俊男会長は21日の記者会見で、「全国の医療提供体制は逼迫の一途を辿っている。急性心筋梗塞は、発症2時間以内の緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。治療が生死の鍵を握る。大動脈瘤破裂といった急性心筋梗塞では、緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。治療が生死の鍵を握る。大動脈瘤破裂といった急性心筋梗塞では、緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。

日本医師会の中川俊男会長は21日の記者会見で、「全国の医療提供体制は逼迫の一途を辿っている。急性心筋梗塞は、発症2時間以内の緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。治療が生死の鍵を握る。大動脈瘤破裂といった急性心筋梗塞では、緊急手術ができるが、それは「割がて」なる。